ローダウンを知る！

目指すスタイルはコレ！

ドレスアップするならはずせないメニューがローダウン。圧倒的な新型車用の開発スピードと豊富なラインアップを誇るブランド「RS-R」流のローダウンを検証！

理想のローダウンを手に入れる

ローダウンするとかいま人気を集めているのが、車高調だ。まさに、様々なタイプの車高調をラインアップし、人気を博しているブランド「RS-R」の菅原さんに話を聞いた。

「エスティマのサスペンションは、フロントがストラットでリアがトーションビームなので、意図しないキャンバーなどが付くことなく、素直にローダウンしていけます。ただ、車高調整をしてください。とくにトー角ですね」。

では、RS-Rの車高調とはいったいどんなものなのか？「エスティマはどのグレードも足まわりの構造は基本的に同じですけど、RS-Rでは2WDや4WD、ハイブリッドなど、それぞれの特性に合わせて専用設計しています」。今回のデモカーにはハイブリッド用の「ベストアイ」を装着、「ベストアイは、スタンダードなモデルです。全長調整式を採用して、減衰力36段調整機能付き。アッパーマウントも装着しています。車高調整には推奨調整幅というのを設けており、最低地上高60mmの確保と快適な乗り心地でセッティングできる幅です。もちろんその数値以上にローダウンすることはできますが、その際はもっと余とる「ブラックアイ」という車高調も用意しているので、そちらがオススメです。ハイブリッドは未設定。減衰力調整に関してはエスティマの場合、リアはラゲッジルームのカバーを外せばすぐ調整できますが、フロントはエンジンルームのかなり奥にあって調整しにくいので、専用のアジャスターを用意しています」。

車高調整は、ローダウンの基本。車高を調整することで、ボディ全体のバランスを整えることができるのです。ローダウンの目的は、見た目のドレスアップ、走行安定性の向上、乗り心地の改善などさまざまです。

ローダウンの目的は、見た目のドレスアップ、走行安定性の向上、乗り心地の改善などさまざまです。

ローダウンすると、ボディ重心が下がるので、車両の安定性が増します。ボディ重心が下がることで、ロール（車両の横方向の傾き）が抑えられ、コーナリングでの安定性が増します。ロールが抑えられることで、タイヤの接地面積が増えるので、グリップ力が増します。ロールが抑えられることで、ボディ内の乗員の揺れが少なくなり、乗り心地が改善されます